

本山町 議会だより



高知県長岡郡本山町議会

vol. **186**

平成 29 年 11 月 1 日発行



勝利を引き寄せる！（嶺北中高合同体育祭）

今回の主な内容

9月議会定例会概要 2

全会一致した議案一覧 5

一般質問 6

委員会報告 16

第5回意見交換会 20

いきいきインタビュー（第5回）…… 24

福島崇年さん、晴香さん、筒井美和さん

一般会計補正予算により(1億2100万円増額) 総額48億7300万に

議案審議

平成29年9月定例会は、8月29日から9月16日までの会期で開かれ、専決処分
の承認について2件、条例の制定2件、
条例の一部改正1件、平成29年度一般
計・特別会計補正予算各1件、認定案件
1件、同意案件1件、その他1件の審議
が行われた。
一般質問（P6から関連記事）は、10人の
議員が町の課題について執行部の考え
をただした。

議案第55号

本山町営更新住宅
の設置及び管理に
関する条例の制定
について

問 当該更新住宅の
家賃は近傍同種の住
宅の家賃とするとあ
る。その内容は。

答 公営住宅法で規
定されており、近傍
同種の住宅の複製価
格に大臣が定める1
年当たりの利回りを

乗じた額と償却額、
修繕費、管理事務費、
損害保険料、貸し倒
れ及び空き家に対す
る損失を埋めるため
の省令で定める方法
で算定した引当金並
びに公課の合計を12
で除した額である。

問 第10条では委員
会の設置を、第37条

では管理人と管理員
の内訳が書かれてい
るが、これは同様の
ものか。

答 この条例は公営

住宅の管理及び設置
に関する条例と同じ
要件にしている。こ
の委員会の設置及び
運営についても、記
載はされており、第
37条との関係はない。
第37条の更新住宅
管理員は、町長が町
職員から任命をする
住宅担当者で、住宅
管理員は別に定める。

問 木造2階建ての
一戸建ては家族が十

分生活ができる規格
にもかかわらず、収
入要件が21万4、0
00円というのは厳
し過ぎるのでは。

答 公の住宅であり、
一定の線引きは必要
になる。その線引き
は公営住宅法からき
ており、意図的にこ
の条例だけを高く設
定をしているもので
はない。また、公営
住宅によらず民間の

住宅等も含め、広く
検討をされるものと
考える。

問 巨費を投じて建
設をする住宅である。
後々禍根を残すこと
のない条件設定をす
べきではないか。

答 公営住宅の家賃
は、公営住宅法で規
定をされており、取
り分けて本町が条例
上で減免をすること
は難しい。特例で考
えることはできるが、
収入が高い方は持ち
家へ誘導していくほ
うがいいのではない
かと考えている。

議案第56号

本山町営更新住宅
使用料条例の制定
について

問 減額する期間は。

答 2年を超え、3
年以下の場合となる。

問 他の町営住宅の
使用料からすると安
価な設定だが、この
算定根拠は。

答 家賃の算定は、
公営住宅法の規定に
より定められている
家賃から算定。公営
住宅法では、入居者
の収入によって家賃
の算定基礎額が算出
をされており、その
算出額から立地係数、
規模係数、経年係数、
利便性係数を掛け合
わせたもので100
円未満を切り捨てる
計算をしている。

問 家賃、使用料設
定根拠の具体的な説
明を求める。

答 家賃は現在改良
住宅の入居者は、こ
の料金が適用になり、
その方一代限りにし
ている。新しく入居
をされる場合の家賃
に、本山町公営住宅

の使用料条例に準拠
をして使用料を算定
するので、収入に応
じての計算になる。

議案第57号

本山町役場事務所
条例の一部を改正
する条例について

問 庁舎位置への住
民の理解が深まった、
得られたという認識
はあるか。

答 6月議会等から
議会広報、また新聞
報道もあったことか
ら、庁舎建設位置に
ついての理解は深ま
っていると認識して
いる。

問 地質調査等、結
果について説明を。

答 嶺北荘建設前に
しているかどうかの
確認をする。

問 旧嶺北荘の建物
は、香南会が撤去費
を負担するのか。
答 そのように契約
している。

問 3月、6月議会
の中で議員から当核
地を庁舎用地にとの
提案があり本日議案
となった。この土地
に対する調査・評価
等が充分行われてい
るのか、危惧するが
町長の見解は。
答 現在の嶺北荘の
用地は、本町の土地
でもあり、町の建設
計画に基づいて今後
進めさせていただく。

議案第60号
平成29年度本山町
一般会計補正予算
(第2号)

総括質疑

問 災害復旧費、7、
900万円、町債が
2,930万円。補
助率の内訳は。
答 国の負担法によ
ると、通常災害の国
庫補助率は66.7%
で2,630万円、
測量設計費300万
円を足して町債費2、
930万円となる。

問 地域IoT実装
推進事業とは。
答 総務省の事業。
補助金で実施する。
目的は、水田セン
サーを活用した水稻
の高品質安定生産と
ブランド力の維持・
向上。

水田センサーで圃

場ごとの微気象や水
位を把握し、食味・
品質の高位安定化を
図るとともに、水位
情報に基づく栽培管
理とアグリノートに
よる栽培記録のデー
タ蓄積を行うことに
よる省力化効果を検
討する。
期間は9月1日か
ら来年3月まで。

問 今回の実施場所、
対象者は。
答 9月以降に希望
する生産者を募り、
各水田に機器を設置。

問 9月開始であれ
ば、稲刈りの時期だ
が、水田センサーの
実効性はわかるのか。
答 9月になったの
は、補助申請の時期
の関係。残り数ヶ月
の限られた期間だが、
出来得る調査を行う。

問 委託料216万
3千円の内容は。
答 水田センサー設
置サポート料、講習
会費、報告書の作成
委託料等。

水田センサーは、
気象計がついてるも
のが10台、水田にそ
のまま設置するもの
が90台。タブレット
7台。

問 来年度以降も補
助金はあるのか。
答 今年は今額補助
金。

今年、効果的な結
果が得られ、来年度
もこのシステムを引き
続き活用するとなれ
ば、有利な補助制度
があれば活用したい。

※IoTとは、あら
ゆる物がインター
ネットを通じてつ
ながることによっ
て実現する新たな
サービス。

問 日本で最も美し
い村連合事業の10万。
審査も含め、活動状
況と共に説明を。

答 今年が5年に一
度の再審査の年で、
11月10日から11日に
かけて審査員が来町、
本町の状況を審査す
る予定。今年度から
再審査に費用が必要
で、その審査料であ
る。

問 老人保護措置費
に628万円の追加
補正の内容は。

答 内容は、措置費
中の事務費の加算と
して、民間施設、給
与等改善費が計上で
きるとのこと、そ
の計上分を施設側か
らの申し出により、
今回計上した。
それに加え、金額
的に病弱加算も対象
者が2名おり、その
加算も今回の追加で

計上している。

内訳は、民間施設
給与等改善費、施設
機能強化推進加算、
病弱加算、介護サー
ビス等を合わせて6
28万円。

問 その民間施設給
与加算と施設強化加
算は今年だけという
ことが。

答 今年度に限って
というものではない
と考えている。

今回の加算等を含
めこの金額で来年度
以降も推移してい
くと考えており、こ
の経費、措置費は予
算書では一般財源の
扱いだが、地方交付
税に算入をされてい
る。

逐条質疑

農林水産業費

問 四季菜館補償、
補填及び賠償金70
3,000円の内訳
を問う。

答 休業期間は6月
15日から7月12日ま
での27日間。この期
間、職員が勤めた日
数の費用が62万4、
700円。休業補償
に算出したのが、給
料の60%、37万4、
820円、廃棄した
食材費5万1,51
0円。また、毎月の
返済金の元本27万6、
000円を合わせて
70万2,330円に
なる。

問 農業振興費の中
山間地域等直接支払
交付金88万5,00
0円、現在の状況、
規模は。

答 今回は大石、吉

延、下津野地区で協
定農地への新規加入
が約3ha（大石2、
5ha、吉延0、1
5ha、下津野0、
79ha）。それに
対する交付額が88万
5,000円。

問 林業費、林業振
興費144万円、森
林整備地域活動支援
交付金。この事業規
模と見込まれる効果
は。

答 森林経営計画の
作成に対する支援。
森林経営計画を作
成するに当たっての
状況の調査、所有者
の同意や測量に係る
費用部分。

問 畜産業費の負担
金、補助金及び交付
金は、赤牛出品等に
配付する助成金か。

答 そのとおり。

教育費

問 外国青年招致事
業費、特別旅費の費
用の内訳を問う。

答 A L Tの異動に
伴う旅費。

問 文学館費、歴史
観光資源等強化事業
看板製作費用等55
6万2千円。内容と
その看板の数は。

答 歴史観光資源等
の強化事業は、志
国・高知幕末維新博
の経費で、来年4月
から大原富枝文学館
を地方会場として事
業を行うこととなっ
ており、県の補助金
がついている。

看板等は、史跡等
の説明看板を設置予
定で、市街地を中心
に10カ所（野中兼山、
土居屋敷跡、本山城
等）の計画。

問 現在観光ガイド
の養成は。

答 本山町観光協会
へ委託し、ガイドを
養成してもらう計画。
現在2名の方がガイ
ド可能。

問 文学館費の修繕
費の内容は。

答 大原富枝文学館
の床の修繕。

問 体育施設費の中
の吉野運動公園維持
管理運営費7万9千
円の用途は。

答 公園内の立木等
の剪定等で、シルバ
ー人材センターへの
委託。

問 公園内のトイレ
やテニスコートの
コート面の荒れ、照
明などの整備にも力
を。

答 管理に努める。

災害復旧費

問 山手線と屋所線
の復旧日程は。

答 9月4日から高
知県に公共災害査定
班が入っており、本
山町は6日午前中に
現地査定。その後、
適正工法を審査、8
日に朱入れ作業、そ
こで事業費等が最終
決定される予定。事
業採択後は県と協議
の後、屋所線は特に
生活道という面も強
いことから、早期着
工に向けて指令前着
工等事務手続を進め
事業着工に努めたい。

全会一致で可決した議案

平成29年 第7回定例会

◎専決処分承認を求めることについて（平成28年度28生耐交第2号 本山・五区統合簡易水道事業 送配水管整備工事（1工区）工事請負契約の変更について）

◎専決処分の承認を求めることについて（平成28年度28生耐交第3号 本山・五区統合簡易水道事業 送配水管整備工事（2工区）工事請負契約の変更について）

◎本山町営更新住宅の設置及び管理に関する条例の制定について

◎本山町営更新住宅使用料条例の制定について

◎本山町役場事務所条例の一部を改正する条例について

◎本山町過疎地域自立促進計画の変更について

◎平成29年度本山町一般会計補正予算（第2号）

◎平成29年度本山町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

◎平成28年度本山町病院事業会計歳入歳出決算認定について

◎本山町固定資産評価審査委員会委員の選任について

住所 本山町吉延五九六番地
氏名 田岡 清
任期 平成二十九年
九月十日から
平成三十二年
九月九日まで

平成29年度

嶺北広域行政事務組合議会臨時会

教育長に、本山町教育長 高橋清人氏の任命に同意
新副議長に、大豊町議長 佐藤徳治氏が就任

平成29年7月28日に、第2回臨時会が開催され、人事案件1件と補正予算1件を審議し、全会一致で同意、可決された。

管理者挨拶の概要は、「清掃センターの基幹的整備改良工事は順調に進捗している。また、嶺北斎苑嘱託職員の猟銃発砲事件については、非常に残念で遺憾であると認識している。斎苑業務は支障がないよう努める。」

なお、本件については、行政処分審査委員会を開催し、7月14日から当該刑事事件が裁判所に継続する間を基礎休職処分としている。構成町村各位、並びに住民の皆様への多大な心配とご迷惑をおかけしたことを陳謝するとともに、今後は、更なる綱紀の粛正に努める。」との挨拶があった。

その後、副議長選挙が行われ、議長指名推薦により、大豊町議

会の佐藤徳治氏が副議長に就任した。

なお、案件の概要は次のとおりである。

1 人事案件の「教育長の任命について」は、本山町教育長の高橋清人氏の任命について、議会に同意を求めるもので、任期期間は、平成29年7月29日から平成30年3月31日までの任期。

2 一般会計補正予算（第1号）は、歳入歳出それぞれ1億87万5千円を追加し、総額を2億244万3千円とするもので、塵芥収集費（大豊町での道路工事のため、ルート変更による燃料費及び香南センターへの可燃ごみ輸送費）と消防施設費（消防車2台の車輪のふらつき修繕費）の増額。



細川博司 議員

説明責任を果たして 政策への理解を得よ 十分な説明を 行いたい

問 重要政策実施には説明責任を果たすよう指摘してきたが、改善すると答弁後も実行されていない。
町民に対して、政策の説明と賛同を呼び掛けるべきではないか。



▲大石展望台からの町並み

答 反省している。事業実行に際しては説明を行うことが責務と考える。

しかし、町民それぞれに考えも違うことから全ての合意を得ることは困難である。
町の機能を麻痺させない立場から、合意形成よりも執行機関としての役割を重視する。

どうなった 市街地 整備策 来年度へ向け 準備を進めたい

問 三月議会で市街地再生着手を示したが、実行状況を質す。

市街地住民組織等で組織する会議を置く、住民と知恵・力を合わせる取り組みが必要ではないか。

答 市街地再生準備会設置などの具体策はこれからで、来年度へ向けて準備を進めたい。

拠点施設 後年度負担を 明確に まだ算出できていない

問 アウトドア拠点施設は建設の起債償還の他に、施設指定管理料、維持補修費は40年間以上必要ではないか。

見込み額を算出し、住民と議会に示したうえで建設に着手すべきではないか。

答 現在、管理料等の積算を進めている。
今後、議会とも協議したい。
健康増進等での施設利用については住民の皆さんに説明したい。

その他の質問

問 第二子の保育料軽減策と病後児保育の設置を求める。

答 第二子の保育料軽減は来年度へ向けて検討。

病後児保育は、隣接町（土佐町）と実施に向けて調整中。

問 農業公社と地域の農事法人、営農組織の連携強化を求める。

答 提案の実現を検討したい。
協力隊員を配置し公社機能の充実を図りたい。

問 農業・林業の技術習得研修を嶺北地域連携での推進を。

答 安全講習は、実施を検討。県研修施設との連携を図る。

問 住宅確保の推進は。
答 五区更新住宅後の整備計画はなく、民間活力での住宅建設を検討。



中山百合 議員

町長の政治姿勢は

住民参加のまちづくり

問 町民に耳を傾け人と人が結び地域と地域が結ぶ住民力に支えられた町にしたい、いかに住民の声を吸い上げるか、住民参加の時期に來ていると思つが考えを聞く。

答 住民参加のまちづくりを基本に、町政への協力が大事と考える。住民に一層のお力添えを願う。

希望者に受領委任払いを申し出により検討する

問 介護を目的とした住宅改修工事に対して、支給される制度がある。現在利用者の支払いが償還払いになっているが、希望者には受領委任払い制度ができないか聞く。

答 原則償還払いとなっているが、先払いが困難な方は検討する。

償還払いとは
利用者が一旦全額負担し、その後9割分の払い戻しを受ける方法

受領委任払いとは

利用者が事業者等に支払うべき金額を町が利用者 に代わつて支払う仕組み。利用者はサービス利用時に1割を支払うだけで済む方法



▲玄関に設置された手すり

放課後児童クラブ、子ども教室の現状は

子どもの命を第一に

問 放課後児童クラブが開設してから15年ほど経過しているが、建物の耐震診断、耐震補強は出来ているのか。遊具も老朽化している。子ども教室も同じく、これからの考えを聞く。

答 耐震性は確保できていないと考えられる。耐震診断、耐震補強も実施していない。今後建物（旧本山幼稚園）が古いので耐震診断はするようになっている。子ども教室との統合も考えながら、新しい場所の確保や新築など今後の方向性を決めなくてはならない。

その他の質問

問 残土処理場（長谷山）の現状は。

答 2度の地元説明会を開き、事務手続きを進めている。

問 庁舎建設はどのように考えているか。

答 プロジェクトチームを立ち上げ、協議を行っていく。

問 四季菜館は今後どのように考えているか。

答 運営は厳しいが、経営は存続してもらいたい。



▲放課後児童クラブ



▲建設中の土佐本山橋



宮田俊一 議員

土佐本山橋、 吉野橋新歩道橋の名称は 歩道橋は名称を募集

問 町民の強い要望として、橋の名称の変更はできないか。

答 土佐本山橋はカーナビや地図情報への影響を考慮し、名称変更しない。新歩道橋は本山事務所において、吉野小学校児童に名称募集を行い、関係機関（学校・地区）と審査協議し決定する予定。

全国森林 環境税は 地方待望の 税制

問 41都道府県、16道府県が新たな財源が必要と説明、町長の見解は。

答 高知県では、県税として既に導入しているが、国税として全国森林環境

税を創設するため、全国町村会、町村議長会も政府に要望している。これは、森林整備及び人材育成などに税を活用でき、歓迎すべき財源である。



▲全国森林環境税創設議員連盟総会(7月20日)

新庁舎の 進捗は プロジェクトを 立ち上げる

問 6月定例議会で嶺北荘跡地での建設が提案さ

れて3カ月経過したが、進捗状況は。

答 現在のところ、2020年度末完成予定。基本設計などは白紙だが、庁舎内でプロジェクトを立ち上げて、住民が利用しやすい庁舎となるよう取り組む。

その他の質問

問 土佐本山橋の進捗は。

答 平成29年8月15日出来高率は計画59.6%、実績58.5%で順調。現在予算に変更は無いが、賃金、物価スライド分による変更を予定している。



澤田康雄 議員

問 一カ所に滞在し、体験を始めとし、レジャーを楽しむこと、又そこを拠点に周辺の観光を楽しむ滞在型観光だが、観光スポットだけでなく食事や宿泊などを通して町全体が観光収入を得られるメリットがあり、取り組むべきと思うが考えは。

滞在型観光の 取り組みは 関係団体と連携して

答 滞在するということは、経済波及効果、宿泊することで地元との交流も出来る。アウトドア施設を拠点にして地域の皆さんと連携し滞在型観光に結び付けたい。



▲白米大作戦キャラクター

白米大作戦 の説明を

女性白寿
男性米寿を
目指すため

問 健康寿命とは、健康上の問題で日常生活に支障がなく暮らせる健康な期間をいうが、平均寿命と健康寿命の間には10年前後の差がある。この

「不健康な期間」を如何に短縮していくかが重要だが、本町が進める白米大作戦の詳しい説明を。

答 一人一人生き生きと輝き、元気で長生きできる町づくりのために女性は白寿99歳、男性は米寿88歳を目指すため白米大作戦の取り組みを始めた。本町の現状は健康寿命では男性76・87歳で県下で24位、女性は82・87歳で県下で17位。男女とも県平均より短い状況。



▲登山でも本山を楽しんでもらいたい（滝山・岩戸）

ゴミの 分別収集を 継続しては もとに戻す ことで合意

問 ごみの収集方法も定着してきた。分別しない地域は少ない。環境にゆるすぎと思う。分別収集を構成町村に対し働きかけはできないのか問う。

答 分別処理費を常時出すことが困難であることからもとの状態に戻すと4カ町村で確認されている。

構成町村と足並みを揃えることが必要と考える。

その他の質問

問 嶺北荘の取り壊しの費用は香南会、それは変わらないのか。

答 変わらない。

町長の描く 新庁舎像は 親しみと 出会いの場に



河邑一雄 議員

問 本山中学校跡地への建築計画の際には基本構想が詳しく記載されていた。建築予定場所も変更となり、今までの経過も踏まえた町長の思い描く新庁舎像を問う。

答 災害拠点、防災拠点、対外的な対応が可能な庁舎、そして日常的に多くの町民が訪れ、出会いが

生まれるような庁舎機能を目指して取り組みを進めていく。



▲進捗が気になるアウトドアビレッジ（完成イメージ図）

アウトドア 事業の進捗は 設計積算中

問 8月末に実施設計書が完成とのことであったが、次の入札への運びとなる前に細かな収支計画、それに伴う指定管理料の

算出根拠等について示す必要があると思う。現在の進捗と併せて今後の進め方について問う。

答 8月末完成予定であった建物に関する実施設計書は開発許可に伴う河川協議等の不測の日数を要し、完成が11月末までとなった。

指定管理に要する経費については、整備を計画している拠点施設の運営にかかる収入、必要経費等収支計算の積み上げ作業中である。

県担当課の指導も受けながら、収支の積算については9月中にまとめることにしており、積算作業後、議会に協議の場を持つよう計画している。

砂防事業の 早急な再開を 国に強く要望

問 平成25年から国による事業を進めている瓜生野砂防堰堤事業について、現在ボーリング調査等も行われておらず全体工事が中断したままの状況と見受けられる。

堤防設置予定場所下流には複数の人家、町道もあり、地域住民は先の九州での豪雨による土砂、流木等による被害等もあり非常に心配している。早急な対策工事の再開を望むが状況を問う。



▲瓜生野砂防堰堤

答 本体工事の進捗状況は8月末にアンカー工事、ボーリング工事、押さえ盛土工事等の内容の入札を実施したが入札参加者が無く契約に至っていない状況である。

国としても施行中の工事であり、再度内容を確認し、9月公示、10月を期限とする入札を実施予定しており早期着工、工事完了に向け作業を進めるとの事である。

町としても、今まで以上に強く国に要望し災害に強いまちづくりを進めていく。



長瀬美和 議員

介護予防の成果は有効性が示された

問 介護予防・運動教室いかうね、あつたかふれあいセンター（いきいきミニデイ）の取り組みは。

答 運動教室いかうねは、昨年度45回開催し、延べ1357名参加。運動による体力や心身機能の向上、交流などで参加者は増加、認定率で介護予防事業の有効性を示した。ミニデイについても介護認定率で比較、効果はあるとの実証結果が出ている。運動教室とともに続けたい。



▲ポーズもばっちり（本山保育所運動会）

連携教育の効果は0歳から18歳までは地元で、そしてふるさとへ

問 本山での保育、小学、中学、高校の連携は十分か。

答 系統性や連続性のある町独自の教育を推進するため、連携教育推進協議会を設置し取り組んでいる。保・小・中・高校の交流や地域とのかかわりを深める事業や、小学生、高校生の地域環境学習、中・高教員の出前授業など学力定着への連携を実施している。

その他の質問

問 要支援1、2対象者の総合事業参加状況は

答 月平均、訪問が6名通所介護が24名利用。総合事業への移行は従来の事業を踏襲して実施している。

問 研修中のスポーツ吹き矢に多くの参加と健康長寿をめざせ。



▲スポーツ吹き矢で気軽に運動（プラチナセンター）

答 社会教育充実のため、学習文化スポーツ活動に取り組んでいる。スポーツ吹き矢はヨガとともに軽スポーツ教室として実施。多くの町民に参加してもらいたい。

問 小学入学時、自分の名前がわかる、書ける、45分の授業を受けられる成長の必要は。

答 新保育所保育指針が公示、小学校学習指導要領と関連しあった内容に改定。乳幼児期の終わりに育つ姿の一律の到達目標ではない。



永野栄一 議員

町長が描く本山は 元気に暮らせる、 地域づくり

問 町長が描いている本山町は。実現させるための施策は。

答 「いつまでもその地域で元気に暮らしていきたい」との願いを叶えら

れる地域づくりには、その地域の集落機能の維持が必要である。地域の状況やニーズを掴むために、民生委員や区長など自治組織との意見交換や、地域交流会の回数を増やしていきたい。

帰全公園の 河原の整備を キャンプ場 整備を進める

問 今年も帰全公園の河原には、多くの人がキャンプに来て、テントで一杯の状態だった。再来年にはアウトドアの里も完成する。交流人口の拡大を図るためにも河原全体の草を根っこから除去し、キャンプ場の充実を図るべきではないか。

答 町もキャンプ利用案内をしているが、河川敷は県立自然公園である。大きな整備については、しかるべき手続きをして進めると共に、草刈りや清掃などは適宜実施していきたい。



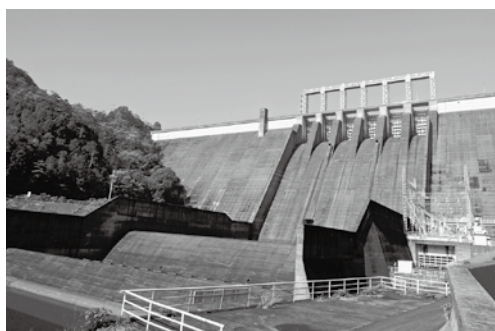
▲帰全公園キャンプ場

早明浦ダム改築理由は 洪水調整能力の拡大と 濁水の軽減

問 早明浦ダム改築要望の理由は何か。
今回の吉野川水系河川整備計画に合わせ、国へは、ダム管理の事前放流などの運用を、県へは、河川の水生動植物の再生を理由に山崎調整ダムの魚道設置や河川の泥除去などを要望すべきではないか。

答 今回の改築は、ダム堤体に3本穴をあけ、洪水調整容量の拡大を図るものである。過去の災害を踏まえ、住民運動として事前放流施設設置の要望があり、洪水調整能力の拡大と濁水の軽減策としての再編計画を要望していた。

事前放流などのダム管理規定は、国が当然対応するものである。自然環境に関しては、ダム建設時の漁業補償などの状況も調査しながら、要望すべくは要望する形の方法をとる時期に来ていると思う。



▲早明浦ダム



上田亜矢子 議員

嶺北高校を 継続させる ために 可能な事から 進めていく

問 生徒数が減少傾向の嶺北高校を継続していくために、どうすればいいと考えているか。

進学希望の子どもに特別クラスを作れないか。高校の魅力化、特徴ある高校にと、各方面から取り組んでいるが、本町はどのような支援をしているのか。

答 高等学校は、自分の夢や将来への希望がかなえられることが、まずは一番大事であると考えている。中高継続した部活動ができる態勢も必要。また現在カヌーの一流指導者も招いているので他校区からの学生を受け入れるための態勢も整えておかねばならない。

大学進学希望の子どもが、市内の高校に行く傾向がある。経済的な負担のこともあり、地元で十分な学力がつくことは大事なこと。

県教委や、関係機関との協議連携を図りながら、可能なことから進めていかなければと考える。



▲中高合同応援

社会活動に応援を 活動場所を提供など 配慮する

問 ボランティアで町を良くしよう、活性化させようと頑張っている団体が、社会活動や社会教育をする時、積極的な支援を。

答 さまざまな団体によって町のいろんなイベント、地域づくり、特に障害者支援、ボランティア活動と、日頃はお世話になっている。

そうした団体が活動しやすい場、集まりやすい場所も提供していくというところが、地域社会をみんなで作って行くために

必要である。取り組みをする際には、町の施設使用料を免除する等の配慮をしていく。

具体的な提案をいただければ、検討していきたい。

来町希望者に 優しく

視察希望者が 自ら確保を

問 今後、来町者が増えることが予想される。

(1) 森林管理署が国のCLTの建築の第1号である。

(2) 嶺北中学校がモデル校になっている。

(3) アウトドアビレッジが出来る等。

交流人口を増やし町を活性化させるためにも受け入れ態勢を整え、交通機関の手配、紹介をしては。

答 学校や病院等への視察については、各施設の判断で、国・県の出先機関については、それぞれの機関で受け入れをしている状況だと推測。

視察会場までの交通手段は、当然視察申込者が確保をするものなので、情報提供はするが、交通手段を提供する考えはない。



▲森林管理署新庁舎イメージ

新庁舎は 基本計画策定



大石教政 議員

問 予定地の計画（広さ・駐車場等）は。

答 嶺北荘跡地は3000平米余り、十分なスペースがとれる。庁舎建設計画はこれから基本計画を策定し、庁舎の間取り、駐車場の確保等検討する。



▲整備された更新住宅

今後の 財政対策は 財源の確保

問 大型事業等が続いているが、後年度負担や財政への影響・課題等は。

答 土佐本山橋のかけかえ、更新住宅整備、アウドアの里づくり、総合福祉ゾーン整備、新庁舎整備等大型事業を予定している。

今後10年の財政見通しを示しているが、先行きは不透明で、引き続き厳しい状況である。事業の

国土調査は 認証済み進捗率は 53.86%

問 進捗と完了時期は。

答 昭和60年事業着手。対象面積97.17平方キロメートルの内65.36平方キロメートルが調査済。年間最大でも3平方キロメートルぐらいしか調査できず、完了までもうしばらくかかる。

展開・執行には一般財源確保が大切。今後の財政を見通していくことが重要であり課題と考える。



▲土地の境界確認作業

その他の質問

問 教職員等の勤務状況は。

答 恒常的に超過勤務労働になっている。時間外勤務は、記録を残すように指示をしている。部活動については、週1日休みを設けている。



岩本誠生 議員

急げ浸水の危険地区の防災対策

設計段階から
実施段階に
進行中

問 吉野大日地区は県河川整備計画事業として採択されているが、浸水対策の着工時期は。

答 県単河川改修事業として28年度に護岸の概略設計を実施し、本年度事業として護岸詳細設計委

託業務を発注。その後地元関係者及び団体に事業説明、事業調整を行ない着手するとのことである。町管理の吉野橋撤去工事も並行して進めていく。



▲浸水危険地区の防災対策を

四季菜館、決断の時期 存続したい

問 厳しい経営状況が続く四季菜館について存続か清算整理するか決断

の時だと思われる。いずれの場合も、町財政に影響しないような特別交付税の特別枠等の対応で処理すべきであると思うが、所見を聞く。

答 地域の活力の面からも資本の増強をして存続したいと思うが、特別交付税を県に要請した経緯も踏まえ、特別枠で県にも要望し、危機的状況の回避に向け努力する。

先読みの 学校体制を 県教委と 協議し対応

問 連携型中高一貫教育の成果は認めるが、学習環境や施設面において課題も多い。中高の設置者を統一することを検討し、今後中学校の県立化を図ることがより効果的では。

答 改修や利用面での制限があるが、県教委にも要望して対応する。中学校の県立化については、嶺北中学校設立時にその動きもあったが実現しなかったと聞く。その可能性も含め今後検討協議する。



▲Jアラートシステム機器

その他の質問

問 大雨等における農業用水路等の防災対策は

答 大雨時の水門等の操作、防災点検等の管理は、水利組合が行っている。危険個所の対策については、補助制度を利用して整備する。

問 J・アラートの緊急連絡体制、タイムラインの設定に着手を。
答 通報には万全を。タイムライン設定は必要。

※J・アラートとは、総務省消防庁の全国瞬時警報システム※タイムラインとは、事前防災行動を時系列で整理した計画

問 各地区に災害危険通報員の設置を。
答 制度設定について一方法として検討する。

よりよい町づくりのために調査しました

総務常任委員会

7月11日

町有地の有効利用に関する調査

総務課長から資料に基づき報告を受けた。

〔売却予定町有地〕

旧大原邸は、杉並区と境界を協議し、建築基準法による2項道路のセツトバックしたものが境界となる。杉並区と交換登記したので、依頼している不動産業者を通じ売却予定。

旧吉野保育所は公売に出したが、希望者がいない。旧白髪小学校は購入希望を確認出来ていない。山手線の北側にある寄贈地は、接道がない状況で現況は雑種地。

〔用途変更町有地〕

嶺北荘跡地は庁舎建設予定地。樋口製材所跡地



▲樋口製材所跡地

は、水道工事残土処理場として活用の為、購入時より敷地状況は良くなる。吉野中学校跡は、当初住宅建設計画があったが、更新住宅建設中の為、建設を見送っている。現在、工事現場事務所兼資材置き場として活用。本山町スポーツセンター跡は、下段の旧国土交通省吉野砂防事務所が移転出来れば一帯の土地として考えられるが、移転出来ない状況で進展はない。松島公有地は、水道管が通っていないので、計画の住

宅地としては現在活用できない。旧本山町第一プールは、土地名義は十二所神社になっているが範囲が不明なため活用は現在困難等の説明を受けた。委員からは、旧大原邸、旧大原別荘跡は売却に向け、早急な対応を。松島公有地は、残土仮置き場としているが、残土捨て場にして道路に接するくらい埋めると有効利用が図られる。四区製材所跡地は整地すると、住宅地、高校宿舍用地等に活用できるので整地するべきで



▲旧大原別荘跡

ある等の意見が出された。また、吉野保育園跡はどのように進めるのか等の質問には、吉野保育園は利用目的はない。公売にしたが購入者がいない。問い合わせもあったが実現には至っていない等の回答があった。

他に、一般住宅裏ノ門住宅、旧本山町第一プール、上街公園について意見質問が出された。

当委員会とは、現地調査等して、新しい情報を得ながら今後も調査する。

産業土木常任委員会

8月4日

れいほく地域振興(株)の平成28年度の取り組み状況に関する調査

社長から説明を受けた。平成28年度は、経営陣を刷新し経営改善に向けて試行錯誤の運営を余儀なくされた。

レストラン事業は「住民から親しまれる四季菜

館」をコンセプトに掲げたが地域内の飲食店と差別化が図れず、低価格設定をしたが集客につながらない状況が続いた。

夜間営業は、団体関係者の利用により宴会は一定の成果があったが目標の売り上げまでには達しなかった。

実績は、来客数1万1,342名、レストラン部門の売上2,301万3千円、弁当部門51万5千円、総売り上げ2,352万8千円。

貸借対照表では、資産合計375万4,100円、負債合計3,183万1,738円、純資産合計△2,807万7,638円。

損益計算書では、売上総利益1,150万678円、営業損失197万4,796円、営業外収益12万5,008円、営業外費用22万5,808円、計上損失207万5,596円、法人税等7万500円で、当期純損失214万6,096円。

平成29年7月15日には施設のガス管破損で、数週間に及ぶ営業停止の状況となった。町に於いては今後も施設老朽化に伴い施設の維持・修繕の経費の計上が必要になる。修繕復旧の遅れは、即経営悪化につながる等が確認されている。

社長からは町からの借入金を株式資本に転換することにより、運転資金の借り入れを起こす事が出来るとの要望があった。

委員から、アウトドア施設のレストランとの連携や宣伝の必要性、資金繰りについて、外郭団体との提携で解消していく事も一つの方法で研究が必要と思う等の意見が出された。

本山町農業公社の平成28年度の取り組み状況に関する調査

同公社の平成28年度取り組み状況について、専務理事から説明を受けた。

農用地利用促進事業では、28年度末借入3,167aうち2,060aを担い手に貸付、1,107aを中間保有。受託農地は年々増加して今後の対応を検討。受委託事

業は、田植え1,899.4a、刈取り3,534aで、28年度は秋口に雨が多くの公社の大型コンバインでの利用が伸びた。米生産事業は栽培人数が36名、面積は31ha、出



▲公社所有の大型コンバイン

荷量が4,344袋。面積は減少したが豊作の為収穫量は伸びた。「お米コンテスト」では大会史上初の2回目の最優秀を受賞した。

種苗事業は、81,296本1,356万7,970円で嶺北管内及び県平野部に苗を供給しているが、農家の減少で売り上げが減少している。

28年度から取り組んだヤーコンは、三品種で利用許諾を得て苗の増殖に努めている。有害鳥獣被害が少ないことから、荒廃農地での栽培が期待されている。

特産普及事業では、「天空の郷せんべい」「天空の郷グラノーラ」「本山さくら塩」「ポん粉スープ」「土佐天空の郷甘酒」等を開発して販売に努めている。度売上は616万2,997円と徐々に伸びている。

施設管理事業は、町と平成27年7月に種苗センターとライスセンターの指定管理契約を締結。施

設は建設22年を経過し老朽化しており、維持管理費等の検討が必要となっている。

役員は、評議員6名、理事監事10名、職員10名。貸借対照表では、資産合計8,922万3,008円、負債合計4,119万6,651円、正味財産合計480万2,637円。

正味財産増減計算書では、経常収益計1億3,831万5,712円。経常費用計1億3,814万3,930円、当期経常増減額17万1,782円。

農用地利用推進事業は、収益2,061万747円。経費は、1,199万1,247円で88万6,062円の赤字だが、公益目的事業として実施しているものである。

米生産事業は、販売収入6,636万9,177円と委託事業等を加え7,231万1,523円の収入。経費は、米買入れ5,340万6,2



▲農業公社種苗センター

48円等合計が7,175万4,725円で、55万6,798円の黒字。種苗事業は、販売収入1,949万5,946円と委託費等を加え2,055万4,388円の

収入。経費は1,838万389円で217万3,999円の黒字。特産品普及事業は、販売収入616万2,997円で委託事業未来創造構築事業1,098万4

千円、加工品開発、指定管理料等を加え1,814万2,956円の収入。経費は原材料453万6,127円、その他を加え合計1,744万9,583円で69万3,373円の黒字。

施設管理事業は、指定管理料303万2,400円等を加え合計で593万2,404円の収入。経費は645万927円で51万8,523円の赤字。

収入等の合計が、1億3,831万5,712円で、費用合計が、1億3,814万3,930円で28年度17万1,782円の黒字決算。

平成25年4月に一般財団法人に移行し、確定した公的目的財産額は、4074万7,360円。これを25年から39年間で公益目的として支出することが、一般財団法人の運営方法。28年度は188万6,062円の公的支出、累積935万781円の公益目的

支出をしてきた等の説明があった。

委員から中間保有の公社の方針、黒字経営の原因の分析、ヤーコン栽培について質問が出された。

農地の維持管理については、町担当課、農業委員会とも協議しているが、一定の線引きをしないと守りきれないという見解を持っている。

ヤーコンは、鳥獣害が少ないので耕作放棄地等で栽培を考えている。ポリフェノール、オリゴ糖等が多いので成分が飛ばないような加工を考えている。29年度は4,000本の苗を作り農家に依頼している。成分を活かした加工品を考えている等の説明があった。

ふるさと納税への返礼品は、ヤーコンの加工品等新たな加工品が出来てくれば手をあげたい。

施設管理、農地管理の質問には、種苗センターが建設されたのが平成5、6年頃、ライスセンターは平成10年、その後

県単事業等で整備し20数年経過し、経年劣化も進んでいるので中長期的にメンテナンスの計画を立てていきたい。

農地管理は、現状では出来る限り町内全域の農地を受け入れ管理していくスタンスだが、今後はマンパワーにも限界があり維持管理できない現状も出てくる。直払い4期対策が進行中で、それぞれの集落協定とも連携を取り、農業委員会や関係機関と協議しながら出来る限り本山町の農地を守っていく等の回答があった。

水資源対策特別委員会

8月10日

早明浦ダム、同発電所、瓜生野取水ダム及び山崎ダム等水資源関連施設に関する諸問題や、水資源涵養に関連する森林整備等について、適正に処理するための調査

吉野川上流部における治水対策の計画段階の評価について

政策企画課長から資料により説明を受けた。

既設ダムを有効活用し「ダム再生」を加速する方策を示すダム再生ビジョンが6月27日に策定され、流域の特性や課題に応じソフトハード対策の両面から、既設ダムの長寿命化、効率的かつ高度なダム機能の維持、治水・利水・環境機能の回復・向上、地域振興への寄与等、既設ダムを有効活用する「ダム再生」を

推進すると位置づけられた。早明浦ダムは、ダム再生で進んでいくと考えている。

ダム再生事業の中で新規事業になるので、具体的に国の指針が決められており、計画段階評価では、課題の把握・原因分析、政策目標の明確化、複数案の比較と評価をして吉野川水系で治水利水の3案が提案され、早明浦ダムに関する新たな放流ゲートの新設整備による洪水調整能力の向上という案が採択された。国



▲早明浦ダム内部にて

の対応方針が決定された後、新規事業採択時評価で第三者委員会の評価を受ける。その後、事業実施のため予算要求がされる。現在は新規事業の採択時評価まで進んでいる等の説明があった。

早明浦ダム再生事業と寺家土捨て場との関連の質問には、今の所関連はしていないが、早明浦ダムの延命化、再生事業と絡むのかもしれないとの回答があった。

濁水と低水温を流すことになるのではないかとこの質問には、その時の状況にもよるが、大雨が想定される前の放流なので濁水を流すことにはならないと思う。表面よりは低温になると考えている。シミュレーションにより様々な影響を検討すると思うので、その情報提供は考えている等の回答があった。

委員から、計画の1案・2案が環境への影響とコストなどで、3案の有効性を覆せないという事



▲早明浦ダム内部にて

は、特に本山町土佐町に集中的に負担をかけてダムの治水効果を上げる計画と思われる。特に環境への影響が集中して本山町にあるので、国が示した段階でなく、運用計画

や詳細が詰まってくる中で、意見を述べる必要性がある。や放流シミュレーションと作業規程の公開等の意見・要望が出された。

みなさんから頂いた要望・ご意見

平成 29 年 4 月に、本山町プラチナセンターにて議会報告会・意見交換会を実施しました。今回は、1 会場に絞り、平日実施を休日の実施にしました。休日に実施するのは初めての試みでしたが、住民の皆様の、大変参考となるご意見をお伺いすることができました。会場でお伺いした主な意見は分野ごとにまとめています。(掲載が遅れました)

開催日	場所	時間	参加人数
4月15日	プラチナセンター	昼間（午前10時～）	7
4月16日	プラチナセンター	夜間（午後 7時～）	16
合 計			23



▲現在の役場本庁舎

庁舎関連

問 新庁舎の位置は決まっていないのか。人口も減っているのでコンパクトな建物が良い。街中という事で特老の跡が良い。

答 町長からの提案は四季菜館の所に建てるということだったが、建築費等を検討し本年度場所を決定した後、基本設計に入る。

問 庁舎建設検討の際、図書館を含めた複合施設にする議論をしていただきたい。

答 議会としても検討したい。

問 大きな地震が来たとき災害対策本部の崩壊が心配だ。庁舎移転が長引くのであれば、保健センターやプラチナセンターに移ることも検討していただきたい。

答 議会でも議論し、住民からの声という事で執行部に伝えたい。

問 執行部の答弁で河川協議と出てくるが、何か。

答 吉野川河川敷と町有地の境を明確にすること。町と県の間で協議中である。

公共交通・地方創生

問 デマンド交通とプロポーザルという言葉の意味が解らない。

答 デマンド交通とは、予約があれば運行する予約型バス。当議会では、デマンド交通も含めた公共交通体系網も調査検討に取り組んでいる。

プロポーザル方式とは、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

今回は、スポーツセンター跡への住宅建設にその方式を採用した。(後、場所が変更となり、現在本山町本山堂畑に建設された)

問 町内交通会議とはどのような会議か。

答 町内のタクシー業者やとさでん交通や地域、行政等が参加する会議。詳細は今後明らかにする。

問 ひと・しごと・まち総合戦略で本山町の総合戦略の概要を教えてください。

答 本町は地方創生の基本理念を「夢かなえる天空の郷」としている。

4つの基本目標

- ・町の強みを活かし、安定した雇用の創出
- ・人の誘致で人口減少に歯止めをかける
- ・出産子育て支援でもとやまを想う子供を育てる
- ・集落の活力づくりと町の拠点機能の充実で持続可能な地域を作る

を決めて施策を実行している。

議会傍聴環境の改善について（議場）

問 傍聴に行っても議員の背中しか見えないので表情が伺えない。椅子が固い。

答 事務局とも相談して対応を図る。



▲配置を変えた議場

嶺北中央病院関連

問 嶺北中央病院はコンサルによる経営診断をしたことがあるのか。

答 診断も受けている。

問 赤字の問題点はどこなのか。

答 医師・看護師不足と、人口減少による受診者数、入院患者数が減少したこと起因。補助基準への対応もあり病床数を111床から99床に減らして経営改善も図っている。

問 アルコール依存症にはまだまだ偏見が強いが、嶺北中央病院にアルコール依存症の外来を作つてはどうか。

答 執行部へ意見があったことを伝える。

会計制度関連

問 一般会計も公会計制度に変わると聞いたが、どのような制度か。

答 今までは地方公共団体の会計は、簡単な単式簿記でやっていたが、複式簿記を取り入れた公会計制度が公会計制度である。

問 制度移行後の議選監査を含む議会の対応は。

答 指摘のとおり公会計になると様々な知識が必要となるので、質問の監査の資格は通達等に基づき適正な対応するようする必要がある。

住宅建設関連

問 人口対策として吉野中学校跡地に住宅を建ててもらいたい。

答 議会としても検討したい。



▲住宅建設を望む声も（吉野中学校跡地）

ふるさと本山会関連

問 ふるさと本山会の入会について、会員になる規約等はあるのか。

答 ふるさと本山会は任意団体なので、本山会に入会の要領について周知してもらえようように求めたい。

※ふるさと本山会とは：

本山町出身者や本山町にゆかりのある人で、高知市及びその周辺地域に住所を有する人を会員として設立されました。

◎入会すると

総会・交流会、本山町民祭・本山町産業文化祭等町内各種行事への参加。年3回町から広報誌やイベント情報等の送付。

◎年会費について

・1世帯 1千円

議会報告会関連

問 報告会の時間が短すぎる。また、以前は5、6か所で報告会を実施していたが、今回は1か所だった。地区を多くしてやるべきではないか。

答 実施要領も含めて、効果の上がる方策を検討していく。

問 議会報告会を9月から10月に当初予算に反映できる時期にやって貰いたい。また、年に1回と言わず問題が起こった時にやって貰いたい。

答 総合的に判断して対応したい。

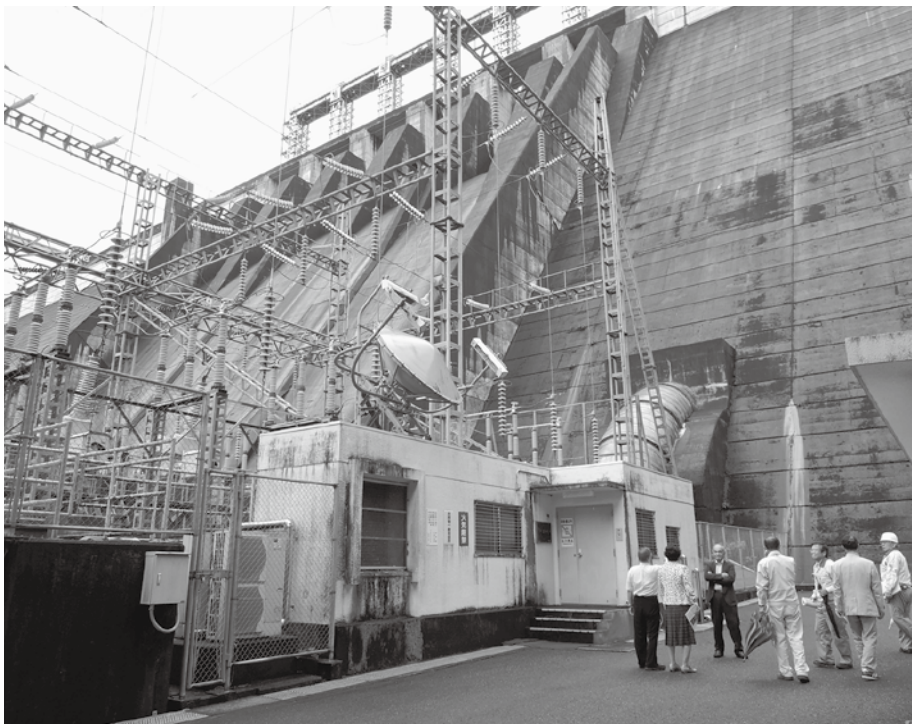
ダム関係

問 電源開発の土砂移動とはどういう事か。早明浦ダムの電力量は目標があるのか。

答 土砂移動は、汗見川のダムに溜まっている土砂

を取り除いてもらいたいという要望があり、電源開発と本山町が取り組んでいる。

45000KWの発電能力はあるが、水の分配で42000KWしかできない状況になっている。



▲早明浦ダム

起債関連

問 現在本山町は借金が多すぎないか。

答 平成28年度が事業費ベースで42億2800万円余りで、毎年返還があるが34年は5億ぐらいで、一番の心配は公債費負担比率は現在の所11%台だが、このまま行くと平成32年には22%ぐらいになるので、大型事業を控えるなど財政計画を考えなければならぬ。なお、広域の事業費が入っていないことが問題で、住民サービスの低下になる恐れがある。



▲地元生産者の野菜や加工品が並ぶさくら市

さくら市関連

問 さくら市の業務期間（27年8月1日から29年3月31日）の運営状況と収益はどのように処理されているか。

答 3月8日にさくら市組合の定例総会が行われたばかりで、（4月16日現在）議会としてもまだ把握していない。今後、委員会で調査する。



▲さくら図書館

社会教育施設・防災施設関連

問 新しく来た人、地域を担う子供が育っていくために、住民が使える社会教育施設の充実が大事ではないかと思う。

答 町有地の有効利用をもっと具体的に議論してもらいたい。また、図書費についても増額をしてもらいたい。

答 要望を踏まえて検討したい。

その他

問 年に一回執行部と若者の意見交換をしたという声があり町長はやりますと返答した。住民との意見交換は必要と町長も言っていたが、昨年住民との意見交換をしたことはあるか。

答 地域交流会を毎年1回している。今回このような意見があったことを伝える。

問 昨年6月議会で、旧自動車練習所跡での桜の木はどうするか、の質問に、桜は切らないと答弁があったにもかかわらず伐採された。

答 9月議会で質問し、陳謝があった。樹種の選定をし植栽するとの答弁もあった。

問 活性化のための、本山城跡周辺の整備計

画はどうなっているか。
答 今年度検討委員会をつくると聞いている。

意見

住 観光について、神楽のことを調べたのだが本山にはない。大豊、本川にはあるが、本山で創れないものか。

住 庁舎建設地について、寺家にも広い所がある。あそこには松の木遺跡もある。本山は土佐の陸の玄関と言われた。

住 本町で例年実施される大きな催しについては、予め日程調整に努め混乱の起こらないように努めるべきである。

いきいきインタビュー

今回は、第72回愛媛国体のカヌー競技に出場された、福島崇年さん晴香さんご夫妻と、筒井美和さんが登場です。

●本山町との縁

晴香さんは、香川県出身。美和さんは高知市出身。お二人とも、カヌー競技を通して知り合い、福島崇年さん、筒井佑さんと結婚されました。福島ご夫妻は坂本在住。筒井ご夫妻はもうすぐ四区に引っ越されるそうです。

●カヌー競技者から見た本山町

四国でも1、2を争う、迫力あるいいコースだが、水量が



安定してないので練習出来ない時も。一部川幅を狭くするなどして水量を増やしたりできるコースを作れば、カヌーで交流人口を増やせるのではないかと。ダム改築工事と合わせて、可能な範囲で調整してもらえたらとの事でした。

●カヌーの魅力

川の流れる場所によって、コントロールが難しく、なかなか納得の行くように出来ないが、乗れば乗るほど上達し、出来た時の達成感はこのほか味わえない。競技人口が少ないので、他県の選手とも一緒に練習したり、助け合ったり。仲間とのきずなが深いところが魅力、このお話に感動しました。

●家庭との両立と夢

『オリンピックはなかなか難しいが、そのコースで漕いでみたい』とは崇年さん。晴香さんは『練習は共働きなので夫婦で協力しあっている、帰宅した時ご飯が出来ている幸せ感

：フフフ』と笑みをこぼされました。

美和さんは結婚した事で周りからカヌーは引退して家庭の事を、と言われたが『少し休むけど、子育てしながら復帰したい。ママでも入賞できたら』と語ってくださいました。

笑顔がステキで、未来を見つめる瞳が印象的なお三方。今後も益々のご活躍を祈念いたしております。



編集後記

こんにちは。

今回は議員一人一人が提出した原稿をできるだけ活かした仕上がりになりました。文章に個性を感じながらお読みください。

広報の研修なども受けながら、議員活動がわかりやすい紙面づくりを目指しています。

町政に関心を持っていただき、自分たちが選んだ首長や議員がどのような言動をしているのか監視することも求められているかとも思います。

これからもご意見、ご協力よろしく願います。

(澤田)

広報編集常任委員会